

事業計画書

団体名	NPO 法人ひらかた生物飼育部 LABO	
事業名称	ひらラボ里山ユースプロジェクト	
事業実施期間	(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) R5年 4月 1日 ~ R6年 3月 31日	
1. 事業の目的	長期的な視点(複数年単位)で記入	<p>(1) 取り組みたい課題(解決したい社会問題等の現状を記入すること) 枚方市をはじめとする生物多様性の保全</p> <p>(2) 動機・きっかけ(課題を解決・改善したいと考えた動機を記入すること) 野外生物調査や飼育をする中で、在来種とその生息地の急激な損失を実感し、里山など生物多様性を守ってきた環境を若い世代で残していくための活動を行いたいと考えたため。</p> <p>(3) 取り組みたい課題の原因(団体が考える社会問題等の原因を記入すること) 里山里山や湿地の減少と、それに関わる若者の減少。外来種問題等、市民の生物多様性に関する正しい知識や経験の少なさ。</p> <p>(4) 取り組みたい課題の解決・改善策(団体が考える改善策等を記入すること) 若い世代に生物多様性に対する興味を持ってもらい、実際に体験する機会を提供し、生物多様性保全の担い手を育成する。</p>
	事業実施期間の視点(単年度)で記入	<p>(5) 申請事業の目的(今回申請を行う事業の目的を記入すること) 若い世代の市民に里山保全活動への参画を促すとともに、耕作放棄水田の活用について提案する。</p> <p>(6) 申請事業が枚方市民に与える効果とその確認方法 <枚方市民への効果> (誰に・どのような効果があるか具体的に記入すること) ・枚方市の未来を担う中高生が里山に触れる機会を提供することで、豊かな教育環境を確保できるとともに枚方市の生物多様性を保全することができる。 ・地域の世代交流の、特に横の繋がりを促進することができる。 ・耕作放棄地が活用されれば、地域の活性化につながる。 ・第3次枚方市環境基本計画の目的達成に寄与することができる。 <確認方法> (参加者数を確認・参加者へアンケートやヒアリングを行う等具体的に記入すること) プログラム参加者にアンケートを実施する。</p>
2. 事業内容等		<p>(1) 事業の対象者(例:枚方市内に住む10代から20代の人など具体的に) 里山や生物多様性に興味のある中高生(今後の進路を考える一助となるよう)。</p> <p>(2) 事業の実施場所(移動補助等の事業の場合は、発着場所等を記入すること) 穂谷地区の耕作放棄水田(枚方市)</p> <p>(3) 事業内容 ・里山や生物多様性に興味のある人を募集し、耕作放棄水田の整備作業や生物調査をスタッフとともに行う。 ・里山や生物多様性についての講義を、大学生や高校生スタッフから行う。 (若者から若者へ)</p>

<p>3. 実施スケジュール</p>	<p>(事業の準備から終了までのスケジュールを記入すること) ※添付も可</p> <p>4月～：現地の整備・安全確認・説明会などの準備</p> <p>5月：地元企業連携イベントでの広報</p> <p>6月：参加者の募集</p> <p>8月：里山整備体験会の実施</p> <p>8月～3月：事業成果の集約・整理・次年度に向けた準備</p>
<p>4. 事業実施の体制</p>	<p>(1) 人員体制 (実施にあたり必要と想定する人員・配置人員の経験やスキル等を記入すること)</p> <p>里山整備スタッフ 5名 (農学部所属大学生2名含む)</p> <p>生物多様性講義スタッフ 1名 (農学部所属大学生)</p> <p>生物調査スタッフ 5名 (生物系専門学生1名、生物系用品メーカー勤務者1名含む)</p> <p>事務スタッフ 1名</p> <p>総合チーフスタッフ 1名 (高校生物教諭)</p> <p>(2) 事業対象者の見込み数 (例：参加者●名など現時点の想定人数を記入すること)</p> <p>中高生20名</p> <p>(3) その他の体制 (寄附者や協力団体などの想定があれば記入すること)</p> <p>大阪府立枚方高校生物飼育部</p> <p>里山の会穂谷</p> <p>枚方いきもの調査会</p>
<p>5. 自立的・継続的に活動していくための工夫</p>	<p>(賛同者や財源の確保策、市民・市民団体・企業・行政等との連携についても記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前身団体である枚方高校生物飼育部との連携を密に行い、他の自然系市民団体や一般企業とも連携していく。 ・市役所や市民活動支援センター主催のイベントに積極的に参加し、より多くの市民の理解を得る。 ・SNSで普段の活動報告を行ったり、身近な生物多様性に関する情報を発信したりすることで、団体への賛同者を増やす。
<p>6. 申請事業に対しこれまでに取り組んだ内容や新たな取り組み</p>	<p>穂谷ではこれまで他団体と連携した生物調査や絶滅危惧種の保全を行ってきたが、2022/7から耕作放棄水田をお借りし、荒れて乾燥化の進んだ湿地を蘇らせ水辺の生物が生息できる環境を整えてきた。今後、生物多様性の保全と、穂谷地区の大切な文化である農業とを両立させる『生物多様性保全型農業』の実践の場としてこの場所を活用し、市民(特に若い世代)と里山との懸け橋としての役割を、若い世代の多い団体である我々が担っていきたい。</p>
<p>7. 事業のPR方法</p>	<p>(事業の実施について市民等へ周知する方法などを記入すること)</p> <p>各種SNSでの発信、チラシの配布、団体ポスターの製作、地元情報誌へ募集広告を行う</p>
<p>8. 申請事業に対する他の助成金や委託料等の申請予定</p>	<p>助成金等の予定 有り (申請中を含む) ・ <input type="checkbox"/>無し (本補助金のみ)</p> <p>助成金等の名称 ()</p> <p>申請中の場合、申請結果が確定する予定日 ()</p>
<p>9. その他</p> <p>※PRすべき事業の特徴、添付する参考資料など</p>	

事業収支予算書

団体名：NPO法人ひらかた生物飼育部LABO

補助対象事業の名称：	ひらラボ里山ユースプロジェクト
------------	-----------------

事業実施期間： R5 年 4 月～ R6 年 3 月

【収入の部】

(単位：円)

項目 ※1	予算額	内容説明 (積算根拠等)
枚方市補助金(一般) (A)	300,000	補助金交付申請額 (一般寄附)
枚方市補助金(団体) (B)	120,000	補助金交付申請額 (団体希望寄附)
自己資金	20,000	
合計 (C)	440,000	

【支出の部】

(単位：円)

項目	予算額	内容説明 (積算根拠等)
補助対象経費	記録用カメラ購入費	100,000 デジタルカメラ100,000円×1台
	里山整備用品購入費	195,000 グラフ2,000円×20個、鎌1000円×20個、コンテナ5000円 草刈り機50,000円、テント40,000円×2基
	生物調査用品購入費	40,000 タモ網1,000円×20個、観察ケース1,000円×20
	印刷代	60,000 ポスター3000円×5枚、看板40000円、 のぼり旗1000円×5個
	会場代	5,000 穂谷公民館1日レンタル
	アルバイト人件費	20,000 日額1000円×20名
	レジャー保険代	20,000 100円×20人
小計 (E)	440,000	
補助対象外経費		
小計	0	
合計 (D)	440,000	

- ※1：事業に係る収入はすべて記入してください。
- ※2：収入の合計 (C) = 支出の合計 (D) となるように記入してください。
- ※3：枚方市補助金(一般) (A) は、補助回数により記入可能な金額が異なります。
(詳細は、募集要項及び別シート「チェックリスト」を参照すること)
- ※4：枚方市補助金(団体) (B) は、個別に通知した団体希望寄附額が上限です。
(通知がなかった or 今年度の申請を希望しない場合は、0円と記入すること)